

令和 7 年第 3 回定例会

一 般 質 問

古 殿 町 議 会

令和 7 年第 3 回定例会一般質問通告書順

日付	順 番	議 員 名	党 名
9 月 17 日	1	根 本 重 一	無 所 属
	2	野 崎 喜 彦	無 所 属
	3	鈴 木 隆	無 所 属
	4	岡 部 淳 一	日 本 共 産 党

番号	質問者	質問事項	要 旨
1	1 番 根本 重一	1. 本町の熱中症対策について (町長・教育長)	(1) 本町における熱中症の発生状況について、どのように把握しているか。 (2) 地域の公共施設での暑さ対策は、どのような対応が取られているか。 (3) 教育現場では、児童生徒の熱中症予防のために、どのような取組が行われているか。 (4) 福島県が推進している「ふくしま涼み処」の利用状況は、どうなっているか。 (5) 地域での見守りや情報発信について、特に高齢者や一人暮らし世帯に向けた取組は、どのように行われているか。
		2. 公共施設の使用状況と維持管理について (町長・教育長)	(1) 本町の公共施設の利用状況について、どのように把握しているか。 (2) 利用が低調な施設や、逆に需要が高まっている施設について、どのように分析しているか。 (3) 老朽化が進む施設の建替えや改修にあたり、多額の費用が見込まれますが、町としてどのような優先順位を考えているか。 (4) 公共施設の長寿命化改修や省エネ化にあたり、再生エネルギーの導入を検討されているか。 (5) 今後の人口減少や少子高齢化を踏まえ、施設の集約化や複合利用といった効率的な運営の方向性について検討されているか。
		3. 地域おこし協力隊について (町 長)	(1) 本町で応募者が集まらない原因を、どのように分析しているか。 (2) 他の自治体の事例を参考にしながら、募集方法や情報発信の改善を進める考えはあるか。 (3) 今後応募者を増やし、制度を効果的に活用していくために、具体的にどのような取組を行うか。

番号	質問者	質問事項	要 旨
2	4 番 野崎 喜彦	1. 移住・定住促進策について問う (町長・教育長)	(1) 移住者・定住者を受け入れるためには、雇用の場所の創出が欠かせないが、その考えと取組は。 (2) 移住者・定住者の流入では特に、若者世代がわが町を目指してくれることが望まれるが、そうしたことへの特化した取組の考えは。 (3) 移住・定住化を目指し、「福島県空き家対策総合支援事業」や「町移住定住促進補助金」など様々な事業を展開しているが、その実績と成果をどのように行政評価しているか。 (4) 交流人口の拡大事業の一つとしての「フルドノタイム」は好評だが、この事業も含めた交流・関係人口の創出・増加に対して目指す取組は。 (5) 町の定住対策と教育支援を両立するものとして、大学などを卒業後、町内在住や就労等を条件とした奨学金制度利用者への「奨学金返済支援・補助」などの考えは。
		2. 令和7年度の主な事業の進捗について問う (町 長)	(1) デマンドバス運行事業の現状と現段階での課題は。 (2) 「道の駅ふるとの拡張事業」の基本・実施設計はどの段階にあるのか。 (3) 前木団地建設事業の進捗と入居開始時期は。
		3. 鳥獣被害対策強化について (町 長)	(1) 「緊急銃猟」には4つの条件を満たす必要があるとあるが何か。 (2) 環境省から7月に指針を公表して手順を解説したとあるが、詳細は。 (3) 熊の出没危険地域では既に「緊急銃猟」の練習を行っているとは報道されているが、本町での訓練の予定はどうか。 (4) 「緊急銃猟」を実施する場合、住民の安全確保など多くの課題があると思うが、主なものは何か。
3	3 番 鈴木 隆	1. 無痛分娩に対する助成について (町 長)	(1) 無痛分娩は妊婦の精神的、身体的負担軽減につながると思うが、どのような考えか。 (2) 無痛分娩による出産割合が増えていると聞かれるが、わが町はどうか。 (3) 無痛分娩に対する費用助成は人口減少対策に資するものと思うが、行う考えはあるか。

番号	質問者	質問事項	要 旨
3	3 番 鈴木 隆	2. 企業版ふるさと納税を活用した奨学金制度等について (町長・教育長)	(1) これからの奨学金制度はUターン対策に資するべきと思うが、どのような考えか。 (2) 地方創生の観点から各事業においても企業版ふるさと納税を活用すべきと思うがどのような考えか。 (3) 下仁田町ではふるさと納税、企業版ふるさと納税を活用し、基金財源として運営されていた。わが町でも同様な「奨学金制度」を行う考えはあるか。 (4) 現在のわが町の「奨学金制度」を見直す考えはあるか。
		3. 移住定住等に対する取組について (町 長)	(1) わが町の移住定住対策としてはどのようなことを行っているか。 (2) 上野村では子育て支援の原資として電力会社による税収が含まれると聞いたが、対してわが町で現在、施工中の風力発電施設による税収見込みは。 (3) 上野村ではUターン後、村内居住であれば大学院まで奨学金返済免除の制度であった。わが町でも人口減少対策として同様な考えはあるか。 (4) これからの移住定住対策を含む人口減少対策の具体的な施策は。
4	7 番 岡部 淳一	1. 町民生活を守る道路事情の現状は (町 長)	(1) 国道349号鎌田八幡下～田口間の現時点での協議内容と完成見通しの具体は。 (2) 県道勿来～浅川線及び三株・下市萱・小川線の改良工事の協議と見通しは。 (3) 町道において改良を予定している箇所は何か所あるのか。また維持管理の具体的内容の対策・対応は。 (4) 林道に対しての維持管理はどんな形で対応しているのか。 (5) 人口減少と住居減少・移転による住民参加型の道路維持協力をどう見ているのか。
		2. コメ増産への転換に町としてどう対処すべきなのか (町 長)	(1) 発表された方針転換についての認識は。 (2) 町内における米作農家の実態と実情は減反政策以降どう変化してきたのか。 (3) 打ち出された大規模化やスマート農業は町の現状に見合ったものなのか。 (4) 中山間地としての実態においてコメを増産するためには、どんな施策が重要だと思うか。

番号	質問者	質問事項	要 旨
4	7 番 岡部 淳一	3. 町民から寄せられている町施策内容について次の2点を伺います (町 長)	(1) 給食費の無償化に伴い食物アレルギー対応としての弁当代無償化が全国的に加速しています。町の現情を伺います。 (2) 働く場の確保を前提にしたイセ食品跡地買収後、賃貸により使用されていることが6月議会で明らかとなりました。貸すにあたっての考え方と契約内容について伺います。